R7.2.7　伝統を引き継ぐ会　２年生の語り

私たちの学年目標は「共にシン化　切磋琢磨　心化　深化 進化」です。

切磋琢磨には仲間同士で競い合い、共に向上するという意味があります。一年生では、一致団結を目標とし、みんなで力を合わせることができました。二年生では、個人としての力も伸ばしていくために、学年全員で成長したいという意味を込めました。

昨年得た成果をもう一度見直すことで、足りない部分を見つけ、改善し、さらに深めるその点では、給食配膳と小集団での学習は四月から高め合うことができました。それは「一年生でできたから。」「新しい学級でも頑張る。」という気持ちを皆がもっていたからだと思います。

同様に、宿泊研修やスポーツフェスティバルでも、１年生の時の経験を活かし、準備や計画では、時間をかけることなく当日の動きもスムーズに進めることができました。それは、「１年生の時にやったから分かる。」や、「こんな研修にしたい、こんなスポーツフェスティバルにしたい。」という思いや願いを一人一人がもっていたからだと思います。

私たちが本当に切磋琢磨し、シン化したのは、初めての「職場体験学習」と「今回の伝統を引き継ぐ会に向けての取組」です。

「職場体験学習」では、学校を離れて、「職場体験学習」に行くことは本当に楽しみでしたが、いつもの仲間と一緒でないことや、初めての場所で初めての人とコミュケーションをとることに、だんだん不安になることもありました。その不安を解消し、自信をもって「職体験学習」当日を迎えるために「時間」と「先がけ挨拶」に取り組みました。

初めは「これぐらい簡単にできるだろう。」と思っていましたが、特に、朝、時間に余裕をもって登校することや、自分から先に挨拶をすることは、簡単ではありませんでした。「挨拶は普段はできている」と思っていましたが、「自分から」というのは実際にやってみるとできていないことが分かり、「意識をもち続けないとできない」「習慣にしないとできない」ということが分かりました。その中でも学年の仲間が大きな声で自分から挨拶をしている姿や声に「自分もできるようにしよう。」と思い、自分から挨拶をする人が増えました

「職場体験学習」当日は、学年の仲間全員が、それぞれの場所に別れてはいましたが、「仲間もきっと頑張っている。」と思い、初めての仕事に取り組むことができました。そして、それぞれが次のようなことを学びました。

１つ目はコミュニケーションの大切さです。仕事をするために、いろいろな場面でコミュニケーションが必要でした。会社の人と話したり、お客さんと話したり、相手も変わることで、こちらから話しかけることも大切だと思いました。

２つ目は、全力でやることの大切さです。「人には得意不得意があるけれど、どんなことにも全力で取り組める人に仕事をまかせたくなる。」と聞いて、苦手なことも全力で取り組もうと思いました。自分は学校で係の仕事をやっているつもりだったけれど、今のままでは「仕事をしている」と言えないかもしれないと思いました。これからは、「やることを欠かさず仕事をすること」「最後までやりきること」「できる人に近づくこと」「コミュニケーションを上手にとること」を頑張っていきたいです。と振り返りに書いた仲間もいました。

そして、実際に働いてみて、家族が働いていることに感謝しながら生活していきたいと思いました。

また、その後のまとめの発表では、「去年の先輩方の発表のように、１年生に興味をもって聴いてもらいたい。」という思いで、仲間と楽しかったことや大変だったことなどを交流し、パワーポイントや

原稿も分担して作ることができました。
　発表前のリハーサルでは、お互いにアドバイスをし合うことで、「他のグループに負けない発表にしよう。良い発表ができるようしよう。」という気持ちが高まりました。
　発表当日は一年生の皆さんが興味をもってうなづきながら聞いてくれたので、働いた当日だけでなく、発表の時も達成感を感じることができました。
　「伝統を引き継ぐ会」の取り組みでは、「三年生に東安中を任せられる」「１年生に安心して付いていける」と思ってもらいたいと考え、「２分前学習の充実」と「ロッカーの整頓」に取り組みました。
　「２分前学習の充実」では、授業前から積極的に教え合い、活動する姿を身に付けることを願いとして取り組みました。今までは正直に言って「分かるけど挙手している人がいるから自分はいいや。」と人任せにしている人が多かったです。しかし、「職場体験学習」で学んだ「自分から」や「コミュニケーションを大事にする」ことで、困っている人に声をかけたり、自分が分からない時は自分から聞いたりする人が増え、授業前から教え合いが活発になり全員挙手ができるようになりました
　「ロッカーの整頓」では、誰が見てもきれいなロッカーを願いとして取り組みました。「全員でやる」ということを意識して、いつも以上に呼びかけを続けることで、それに応える人が増えて取組の〇が増えていきました。仲間の思いを聞いて「自分と同じだ。」「仲間のために頑張ろう」「ロッカーを整頓しないと」という気持ちにみんなが変わっていったからだと思います。
　また後半では、学年として初めての個人取組を行いました。個人で自分の課題を取り組み項目にしてお互いに評価し合いました。全員が自分が苦手なことやできていないことに取り組み、仲間が評価してくれて〇になっていくことで「自分もやればできるんだ。」「ちょっと意識したり、行動を変えたりすることで、できるようになるんだ。」と自分自身に新しい発見をしたり、「自分はできる」という自信をもつことができました。
　しかし、学年としても個人としても、もっと反応したり応えたりすることや、できたことを継続することに弱さがあります。給食配膳や小集団交流、掃除の質も高めたいです。そして、「３年生に東安中を任せられる」「１年生に安心して付いていける」と思ってもらい、「この仲間とならできる。」「仲間も頑張ってるから自分も頑張る。」「自分だってできる。」そんな思いや自信をもって３年生になりたいです。
　これから歌う「結」に次のような歌詞があります。
　どんなにがんばったって　うまくいくわけじゃないけど　夢は描(えが)いた人しか　かなえられないんだから　信じること　あなたの中に　眠ってる力に気づいて　あきらめないで　苦しくて逃げてばかり自分が情けなくなる　だけどみんなと笑ってたどり着きたいんだ　いちばん手に入れたいものって　簡単じゃないでもあきらめない　僕たちはなにより強い絆で結ばれている
　お聴きください。